

令和5年度 学校経営ビジョン

《校訓》自律・協調・努力

学校教育目標

- ◎自ら学び、心豊かで、健やかな生徒の育成（知・徳・体の育成）
～子どもたちの主体性を大切にした未来につながる学びの実現～

めざす子ども像

- 正しく判断し、行動できる子ども
- 互いの考えを伝え合い、認め合い、自分も他の人も大切にする子ども
- 夢と志を持ち、可能性に挑戦する子ども

めざす学校像

- 安全・安心な学校 ～高い人権意識のもと、個性や能力を認め合える環境～
- 学力が保障される学校 ～予測困難な未来を生き抜く資質能力の育成～
- 生徒がいいきりする学校 ～生徒の主体性を大切に、自分らしい生き方を考える～

めざす教師像

- 生徒の人権を重んじ、心に寄り添える教師
- よりわかりやすく魅力ある授業の創造に努める教師
- 互いに認め合い、組織的に学校の教育力を高め合う教師

《 学校経営の基本方針 》

- 全教職員で生徒・保護者との信頼関係の下、生徒や地域の実態を考慮して、活力に充ちた生徒を主体とした学校づくりに努める。
- 教育活動全体を通して、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を養い、道徳的実践力と思いやりの心を持った生徒の育成をめざす。
- 健康・安全に関する理解を深め、基本的な生活習慣を身につけるとともに、スポーツや文化等に親しみ、自らの心身の健康を高める生徒の育成に努める。
- 生徒の可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる授業づくりを推進する。
- 主体的な学びから知識技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力を育む教育の実践に努める。
- 自らの個性・特性を理解し、主体的に進路選択ができる能力を育てる。また、社会とのつながりを意識し、発達段階に応じた体系的なキャリア教育の推進を図る。

《 本年度の重点課題 》

1. 学習指導（主体的・対話的で深い学びの実現）
 - 学習規律の確立・家庭学習の充実
 - 「Hirakata授業スタンダード」（第3版）を踏まえた授業づくり
 - ユニバーサルデザインに基づいた授業づくり
 - 授業、家庭学習におけるICTの効果的な活用
 - 全国学力・学習状況調査等の分析結果を踏まえた授業改善及び個に応じた指導
 - 指導と評価の一体化と多面的・多角的な評価の適切な実施

2. 生徒指導（正しい生徒理解に基づき、一人一人の人格を尊重し、自己実現を目指した生徒指導・支援）
 - 開発的指導
 - 教職員の組織的な生徒指導体制の充実
 - いじめの早期発見・早期対応に向けたアンケート等を含めた実態把握
 - スクールカウンセラー等の専門家及び関係機関との連携
 - 生徒会の活性化による自治能力・自浄能力

3. 環境整備（すべての生徒が学びに向かう環境の実現）
 - ユニバーサルデザインを取り入れた環境整備
 - 行き届いた清掃による校内環境
 - 学校生活の見通しをもつことができる掲示物の工夫、点検

4. 業務改善（心身ともに健康でやりがいを感じ、生徒に向きあう職場環境の実現）
 - 部活動の負担軽減に向けた学校体制の見直し
 - 教職員の勤務時間について保護者への周知
 - 会議の定時開催の徹底
 - ICTを効果的に活用した各種会議等の効率化
 - 身の回りの整理・整頓